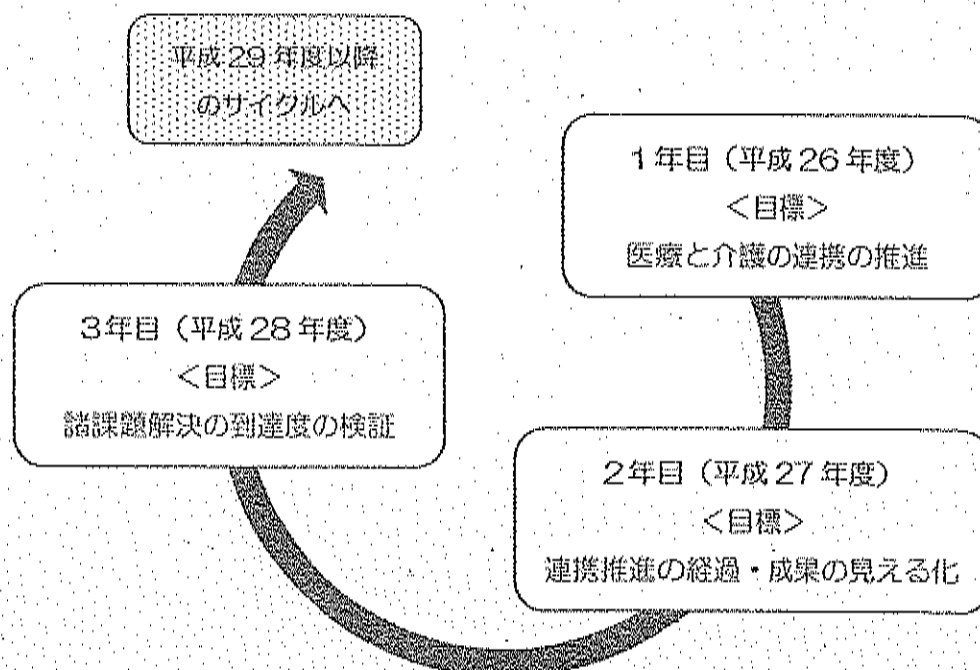


図 17) 在宅医療連携拠点事業の第6期中の各年度の目標



平成26年度に着手したこの事業は、3年を1サイクルとして実施することを予定していますが、3年目の到達度合によって、次期の事業のサイクルの幅や内容を決定して、継続して取り組んでいく計画とします。

○平成26年度「医療と介護の連携の推進」

これまでなかなか進んでいなかった医療と介護の連携について、それぞれの専門職が合同で会議・研修に取り組む機会を設け、「顔の見える関係づくり」からスタートし、在宅療養の場で実際の連携が図られるように仕組みづくりを進めます。

○平成27年度「連携推進の経過・成果の見える化」

前年度から継続して実施する連携づくりの取り組みの経過や、会議等で話し合われた課題と解決方法などについて、市ホームページや講演会の場などにおいて、市民と情報を共有化していきます。

○平成28年度「諸課題解決の到達度の検証」

医療と介護の連携づくりを進める過程では、さまざまな課題点が抽出されます。

それらをこの事業において、専門職同士の検討により解決を図っていきませんが、どのような課題についてどのように解決策を見いだせたのか明らかにし、全体の何割程度が解決されたか示します。

また、その到達度合に基づいて、次の事業のサイクルの幅や取り組む内容を明らかにしていきます。